

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢 康英、加藤 正文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深めることができる。			
[授業概要] 銀行の在職経験を有した教員より、現代日本が抱える経済的諸問題について、理解を深める。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきている。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考える。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。			
[授業計画] 1. 少子高齢化社会と生活経済 その1(財政)＜小沢 康英＞ 2. 少子高齢化社会と生活経済 その2(年金)＜小沢 康英＞ 3. 財政と税制度＜須磨税務署(外部講師)＞ 4. 社会経済を構成する主要素＜小沢 康英＞ 5. 企業経営の目的＜小沢 康英＞ 6. 企業活動と社会的責任＜小沢 康英＞ 7. 企業形態と組織＜小沢 康英＞ 8. 製品開発と生産管理＜小沢 康英＞ 9. 地域の活性化と販売戦略(記事作成を通じて)＜加藤 正文＞ 10. 人材の確保と育成(記事作成を通じて)＜加藤 正文＞ 11. 産業社会構造の変化(記事作成を通じて)＜加藤 正文＞ 12. サステイナブルな生活と経済(記事作成を通じて)＜加藤 正文＞ 13. 現代の経済構造の変化(記事作成を通じて) ＜加藤 正文＞			

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢 康英、加藤 正文		
[成績評価方法] 授業における自立心・対話力(30%)、レポート(70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中の課題、レポート課題、テスト [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			